

臨床研究「若年世代の腫瘍性疾患に対する陽子線治療の症例データベース構築」について

筑波大学附属病院放射線腫瘍科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

若年世代（20-39歳）の腫瘍性疾患では治療後の予後が長く、陽子線治療を用いることにより有害事象を最小限にするメリットが大きい領域であると予想される。しかしながら若年世代の腫瘍性疾患は症例数が少なく、患者背景も複雑でありまとまった情報が乏しい状況である。本研究では若年世代に対する陽子線治療後の有害事象などのデータをデータベースに登録して管理を行い、陽子線治療により実際に有害事象の軽減が図れているかの検証を行う事が目的である

② 研究対象者

2013年1月～2019年9月に筑波大学附属病院で若年世代に対して陽子線治療が施行された症例

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2035年1月1日まで

④ 研究の方法

先行研究として施行された「限局性の固形腫瘍を除いた小児・AYA世代に対する陽子線治療」のデータベースを引き継いで、データベースに照射情報や有害事象の登録を行う。

⑤ 試料・情報の項目

個人が特定されうるデータを含まない診療情報・照射情報を臨床研究データベースに登録する。

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

臨床研究データベースに登録されたデータは筑波大学附属病院で解析を行う。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

水本斉志 筑波大学附属病院 放射線腫瘍科 講師

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：放射線腫瘍科 担当 水本斉志

所属・責任者名：放射線腫瘍科 教授 櫻井英幸

電話：029-853-7100（平日9～17時）